

令和4年度
教職課程
自己点検評価報告書

白梅学園短期大学

令和5年5月

目次

I	教職課程の現況及び特色
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価
	基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み
	基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有	
	基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫	
	基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援
	基準項目 2-1 教職を担うべき適切な人材(学生)の確保・育成	
	基準項目 2-2 教職へのキャリア支援	
	基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム
	基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施	
	基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携	
III	総合評価
IV	現況基礎データ一覧

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

- (1) 大学名：白梅学園短期大学
- (2) 学科名：保育科
- (3) 所在地：東京都小平市小川町 1-830
- (4) 学生数及び教員数

(令和4年5月1日現在)

学生数： 教職課程履修 173 名／学部全体 177 名

教員数： 教職課程科目担当（教職・教科とも）10 名

2 特色

本学は 1942 年発足の東京家庭学園を起源に持ち、1957 年に白梅学園短保育科を設立した。同校は保育養成の学校であると同時に、幼稚園教諭養成所としての許認可を得、保育者養成校として全国へ保育士、幼稚園教諭を輩出致しました。当初の学科は保育科、教養科、心理学科、福祉援助学科で構成され、建学の精神である「ヒューマニズム」を土台に保育、教育、心理、福祉を学ぶ環境を有していた。

現在は、短期大学保育科の 1 学部 1 学科制となり、保育士と幼稚園教諭を多数輩出している。2005 年に設立された白梅学園大学子ども学部との単位互換制度を設け、幅広い視野の育成を踏まえた学習環境を作り出し、白梅学園大学子ども学部と共に発展を続けている。

本学の課程認定は以下のとおりである。

免許状の種類	課程のある学科
幼稚園教諭二種免許状	保育科

教員養成における特色としては、

- ①「履修オリエンテーション」「実習オリエンテーション」からなる教員・事務が両輪となったきめ細やかな履修指導、教育実習指導
- ②「実習ガイドブック」「しらうめの実習」等の手引きを使用した、教育実習にあたっての心得や実習における具体的な取り組み方の指導
- ③学科教員全員による実習巡回指導（幼稚園）
- ④「実習指導センター」中心とした課程履修者の受け止め、個別指導
- ⑤キャリアサポート課によるボランティアの斡旋
- ⑥学修行動調査および授業アンケート、卒業時アンケート等、各種学生対象のアンケートからの教職関係授業へのフィードバック、達成度確認の実施
- ⑦臨時任用募集の情報提供など、卒業生の就職支援
- ⑧短期大学 HP における情報公開、「実習通信」による教育実習指導・体験の総括と実習受け入れ先への情報発信などがある。

入学前、在学中、卒業前、卒業後と教職課程におけるすべてのステージに短期大学が積極的に関わり、教職を目指す学生の学修に、“エアポケット”が生じることのないような組織づくりをしている。

II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

〔現状説明・長所・特色〕

本学は、人間を愛し、人間の価値を最高度を実現しようとする“ヒューマニズムの精神”を建学の理念としている。この理念に基づき、日本国憲法および教育基本法の実現に努め、社会の発展と人類の福祉に寄与する人材を育成することを目的としている。それを踏まえて、『白梅学園短期大学保育科の卒業・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー/DP）』として、以下の観点にそった所定の単位を修めた学生に、学位を授与することとしている。

(1) 子どもの成長と発達について、確かな知識を習得している。

(2) 子どもと家族についての確かな知識を習得し、保育・幼児教育を実践するための技術を習得している。

(3) 子どもや家族をめぐる諸問題に対して、ヒューマニズムの精神に基づく自分なりの考えを持ち、それを表現し、行動することができる。

上記3項目の達成を目指している。

この目標・目的は大学ホームページにて広く公開し、入試ガイドブック、履修案内、教育実習ガイドブックなど、教職員および学生個々が手に取れる媒体で共有・周知をしている。

本学の教職課程における特色は、建学の理念であるヒューマニズムの精神に基づき、保育・幼児教育と子どもを取り巻く家族や現代社会に関する理解を深め、子どもの権利を尊重し、現代社会において子どもや家族の健やかな成長・発達を支援するために、豊かな人間性と確かな専門的力量を身につけた人材を育成することを目指していることにある。

また、学生に対して、①各種オリエンテーションを通して教職課程履修の心構え

や具体的な履修方法を示す、②「実習指導センター」による実習指導、③「キャリアサポート課」によるボランティア体験の紹介・支援、④学修調査や卒業時アンケートによる自身の評価・達成感の確認といった機会を通じ、目指す教員像の落とし込みを促すと同時に、「履修案内」「履修カルテ」「実習ガイドブック」等の媒体を活用することで、関係部門、教職員が各々目的を共有し、一貫した指導にあたるよう注力している。

《出典資料：白梅学園短期大学 HP 教職課程における情報の公表『教員養成の目標』》

《出典資料：2023年度「履修案内」》

《出典資料：白梅学園短期大学 HP 教員の養成の目標》

《出典資料：白梅学園短期大学 HP 目標を達成するための計画》

基準項目1－2 教職課程に関する組織的工夫

〔現状説明、長所・特色〕

白梅学園短期大学における幼稚園教職課程の事務は、実習指導センター/教職教育・研究センター事務課において、「白梅学園短期大学学則」、「白梅学園短期大学履修規程」に基づいて行っている。このうち、幼稚園の実習は実習指導センターをそれぞれ設置して管理を行っている。

実習指導センターには実習助教を配置し、各実習に関する包括的に学生のサポートを実施できるようにしている。

保育部会、実習指導センター会議等の委員会を定期的を開催し、個々の学生の動向の把握・情報の共有や適切な支援に努め、教育実習派遣の可否についての検討、指導も実施している。

その他、実習対象学年全員に対して「実習ガイドブック」を発行している。この実習ガイドブックには建学の精神である「ヒューマニズムの精神」を元にした

実習に対する心構えや必要な手続き、実習指導の進め方をまとめている。

また、センター内には補講ブース、各実習先の資料（幼稚園の概要、パンフレット、実習報告書など）閲覧スペースなどを設置している。

《出典資料：白梅学園短期大学 履修案内》

《出典資料：学内教員用 実習指導の手引き—幼稚園・保育所・福祉施設—》

《出典資料：実習ガイドブック》

《出典資料：白梅学園大学・白梅学園大学 HP 実習指導センター》

基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援**基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成**

〔現状説明、長所・特色〕

【大学】

学生の受け入れに関しては、求める学生増としてアドミッション・ポリシーを定めて公開している。主に以下の2点である。

- ①ヒューマンイズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、保育士および幼稚園教諭の職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ②高等学校等での国語等の基礎学力があり、十分な保育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人

学生募集活動などを円滑かつ効率的に処理するため、「入学センター」を設置して実施している。高校生・保護者・関係者向けにはオープンキャンパスを実施し、入試内容や本学の情報についてご理解を頂けるようにしている。また、東京都内の高校を訪問し、本学の説明や受験生の希望のヒアリング等を実施している。

<根拠となる資料・データ等>

《出典資料：2023年度自己点検》

《出典資料：白梅学園大学・白梅学園短期大学受験生サイト》

《出典資料：白梅学園短期大学 HP 保育科について》

基準項目2-2 教職へのキャリア支援

〔現状説明、長所・特色〕

在学生のキャリア支援は、「キャリアサポート課」が担当している。課員と教員で連携して実施している。

キャリアサポート課には国家資格を所持しているキャリアコンサルタントや専門スタッフによる「キャリアガイダンス」、「個別相談」、「インターンシップ・ボラ

ンティア等の斡旋」などを実施している。

キャリアガイダンス「自己理解」を実施することで、学生の意欲や適性についての把握を行っている。外部講師の講演・卒業生講演ガイダンス・キャリアガイダンス「仕事理解」等を通じて在学生には各種職種の情報を提供し、また卒業生講演ガイダンスや特別区立幼稚園採用試験対策講座の実施を実施して、キャリア支援の充実化も図っている。

ボランティア・イベント等の情報提供は、進路希望調査票を使用し学生の進路希望を把握して行っている。進路希望を元にして現場体験、進路選択検討の機会を提供している。

<根拠となる資料・データ等>

《出典資料：キャリアガイドブック》

《出典資料：2023年度自己点検》

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

〔現状説明、長所・特色〕

本学の保育科では、建学の精神である“ヒューマニズムの精神”を元にする教育目標を達成するための計画として「自ら考え、行動できる保育者を育成するため」理論と実践をバランス良く学ぶことができるよう以下の科目を設置している。

1. 保育や幼児教育の目的や子どもを取り巻く現代社会の状況について学ぶ科目
2. 保育や幼児教育の対象となる子どもと家族について理解を深める科目
3. 保育・幼児教育を実践するための方法や技術を習得するための科目
4. 保育・幼児教育をめぐる諸問題について論理的に考え表現する方法を習得するために必要な科目
5. 保育・幼児教育について保育の現場で実践的に学ぶことができる科目

本学では保育士、幼稚園教諭二種免許状の取得が可能であるホームページにてカリキュラムマップを公開し、学習内容の順次性と科目間の関連性を示している。

また、学生の授業科目の履修登録単位数は1年次55単位、2年次50単位を上限とし、建学の精神を具現する教育を行うように努めている。

法令と本学科目の対照表を履修案内及びホームページに掲載・シラバス内にて各教職課程関連科目の学習内容・目標・評価方法を開示し学生に周知させている。

<根拠となる資料・データ等>

《出典資料：カリキュラムマップ》

《出典資料：白梅学園短期大学ホームページ 授業シラバス》

《出典資料：白梅学園大学子ども学部 授業科目の履修登録単位数の上限に関する規程》

基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

〔現状説明、長所・特色〕

本学では、保育内容総論の授業を1年次に設置している。各種の実習の前に保育・幼稚園教育の現場に赴き体験学習し、幼稚園での実習・保育所での実習に臨む。実習事後指導などを経て1年次の実習の振り返りを行い、2年時に幼稚園・保育園・施設での実習に赴く。これらのカリキュラムを以って学生が実践的な指導力を学べるようにしている。

また、地域連携活動として「白梅子育て広場」という活動を行っている。地域の子どもたち、保護者や高齢者、障害者など、地域の人々と学生がつながる交流活動を目的としたもので、活動内容は多岐にわたる。

学生自らが主体的に教員や地域のNPOと協力し、企画・運営に携わっているのが大きな特徴であり、学科を問わず多くの学生が積極的に参加しているため、新たな出会いや発見につながっている。

<根拠となる資料・データ等>

《出典資料：白梅学園短期大学 シラバス》

《出典資料：白梅学園短期大学 履修案内》

《出典資料：白梅学園大学 HP「白梅子育て広場」》

Ⅲ. 総合評価

本学では、自分の幸せだけでなく、他者の幸せを願うという“ヒューマニズムの精神”という建学の理念を基づき今日まで教員・保育士養成を行ってきた。本学の元々の強みの一つであった社会福祉の学びも単位互換制度等を駆使して学びにすることができる場所に大きな強みがあると感じられる。幼稚園教員養成課程は「実習指導センター」が担当することにより、より深い学びを得られるようになった。

また、基準項目2-2・3-2に記載の通り、ボランティアや体験型の授業カリキュラム、学生活動を通じて学生は広い視野で教職課程の学びを得ることができる。

学びの地盤がある一方で、各センターや関係部署間の連携をさらに一層強化し、よりよい学びを学生に提供できるように努力を重ねていく。

白梅学園短期大学

学長 高田 文子

IV 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 白梅学園					
大学・学部名 白梅学園短期大学					
学科・コース名（必要な場合） 保育科					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業者数					91名
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					91名
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					90名
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					24名
④のうち、正規採用者数					24名
④のうち、臨時的任用者数					
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ()
教員数	4名	2名	2名	3名	
相談員・支援員など専門職員数 0名					